

(記載例)

～ 記載のポイント ～

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクールにおいては、公募要領の別紙に掲げる「審査項目」及び「審査基準」に基づき、審査を行います。

応募用紙、推薦調書の記載に当たっては、これらの「審査項目」及び「審査基準」を参考としてご記載いただくようお願いいたします。

なお、「審査基準」については、あくまで一例となりますので、全ての取組について網羅的にご記載いただく必要はなく、また記載例にない取組についてもご記載いただけます。

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール応募用紙

応募者情報

応募区分	GAP 部門			
	実需の部			
ふりがな	かぶしきがいしゃ〇〇	ふりがな	〇〇ぶ 〇〇 〇〇	代表者年齢
氏名 (団体名称)	株式会社〇〇	代表者氏名 (団体の場合記入)	〇〇部 〇〇 〇〇	〇〇
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇		連絡先	電話:〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇〇-〇			メール:〇〇〇〇〇@〇〇.co.jp
				事務担当者氏名:〇〇 〇〇

<取組内容>

応募タイトル	環境に配慮した持続可能な調達に向けた GAP 認証農産物の調達					
品目	農産物全般	※2 経営面積	ha	※2 構成員 の人数		人
取得中の GAP 認証及び 認証種別	※2 <input type="checkbox"/> GLOBALG.A.P. <input type="checkbox"/> ASIAGAP <input type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他(〇〇県 GAP) <input type="checkbox"/> 個別認証 <input type="checkbox"/> 団体認証	※2 認証取得 した品目 (すべて記載)		※2 認証取得 時期 (年月)		

取組開始年、きっかけ、これまでの経緯

当社では、平成〇〇年から、環境に配慮した持続可能な調達に向けて、GAP 認証農産物の調達を開始。令和〇年には、GAP 認証農産物の調達率〇%を達成。令和〇年までに、GAP 認証農産物調達率を〇%にするという目標達成に向けて、取組を推進している。

また、新規の調達先の確保に加え、既存の契約産地においても、JGAP 認証取得を推進しており、購買担当者や指導員による導入支援活動も行っている。

取組内容

①GAP 農畜産物の取扱拡大に向けた取組

現在、GAP 認証農産物の調達率は〇%となっており、取組を開始した平成〇年度から〇年で、調達率は〇倍に向上している。特に、レタスの調達において、GAP 認証農産物の調達率 50%を達成し、他の品目についても、調達率の向上に努めている。

調達の拡大に当たっては、購買担当者が JGAP 指導員資格を取得し、GAP の取組について理解を深めた上で、取引を行っている。購買担当者が JGAP 指導員資格を取得することにより、産地との関係性の向上につながっており、令和〇年には、新たに〇つの GAP 認証産地との取引を開始した。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

②GAP 農畜産物の販売拡大に向けた取組

GAP 認証農産物の安定調達が可能になったことで、一部の品目については、GAP 認証農産物を使用している商品として、パッケージや POP 等を作成し、消費者に向けた PR 活動も行っている。

また、当社の公式 HP において、契約農場における GAP 認証の取組について、発信を行い、消費者に向けて、GAP の取組の意義や目的等について、広報活動を行っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

③生産者への普及推進の取組

令和〇年から、購買担当者や指導員の JGAP 指導員資格の取得を推進し、毎年、GAP 認証に係る社内研修を実施。これまで、述べ〇人の社員が資格を取得し、各調達ブロックにおいて、〇人以上の GAP 指導員等が常駐している状態となっている。社内の GAP 指導員等が中心となり、契約産地において、GAP 認証の取得を推進し、現在では、〇%の契約産地において GAP 認証を取得している。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

④地域の内外への波及に向けた取組や SDGs等への対応に関する取組

令和〇年に「〇〇計画」を策定し、「〇〇」をスローガンに掲げ、GAP 認証農産物の調達による持続可能な調達の実現に向けた取組を行っている。取組状況については、当社の公式 HP 等において情報発信を行っており、消費者や流通関係者等への啓発にも努めている。

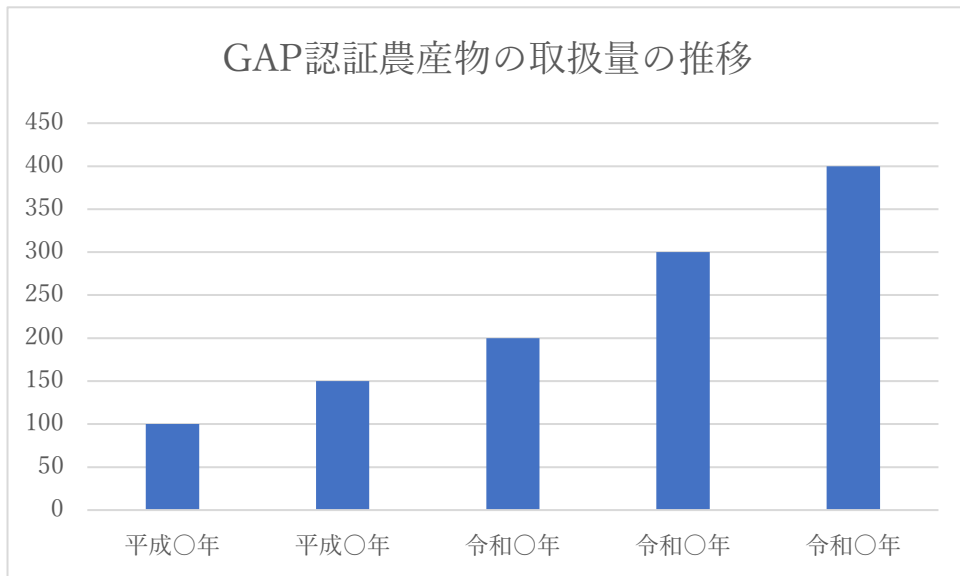
〇〇のイベントでは、持続的な調達に関する調達の取組例として、当社の契約産地における GAP 認証取得に関する取組を紹介し、実際に GAP 認証品を手にとって、食べてもらう事で、消費者への理解促進を促すような活動も行っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

(記載例)

直近の経営状況

当社における GAP 農産物の取扱量については、以下のとおり推移している。平成〇年に GAP の取組を開始してから、令和〇年までの間に順調に推移し、〇倍になっている。なお、全体調達量のうち GAP 認証農産物の調達量は、〇%となっている。



今後の活動方針、その他アピールしたい事項

引き続き、持続可能な調達目標の達成に向けて、GAP の普及・推進活動に取り組んでいくとともに、契約産地における GAP の取組の拡大や継続にも力を入れていく。また、消費者に向けて、GAPの取組や重要性等、理解促進につながるよう、発信を行っていく。

(※その他、アピール事項等について該当あれば記載)

- ※1 農業生産に関する取組の場合、「個別経営の部」、「団体の部」、「人材育成の部」のいずれかを選択して下さい。
なお、農業者、法人等は「個別経営の部」、市町村、農業協同組合、協議会等は「団体の部」、農業教育機関等は「人材育成の部」を選択してください。
また、流通・加工・販売・消費に関する取組の場合、「実需の部」を選択してください。
- ※2 「個別経営の部」、「団体の部」、「人材育成の部」の方のみ記載してください。
- ※3 本応募用紙の他、各取組に関する既存資料や写真、パンフレット、新聞記事等活動内容を補足する資料を添付いただけます。
なお、添付資料については、枚数制限等ございませんが、ページ数の多い資料を添付する場合は、該当ページのみを抜粋する等、審査の円滑化のため、できるだけ枚数を絞っていただきますようお願いいたします。

(記載例)

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール推薦調書

【推薦事例（GAP 部門 実需の部 生産）】

推薦事例団体名及び代表者名	株式会社〇〇 〇〇部 〇〇 〇〇
応募タイトル	環境に配慮した持続可能な調達に向けた GAP 認証農産物の調達
推薦調書作成者氏名及び連絡先	〇〇 〇〇(作成者氏名) 〇〇(作成者所属) 電話： メール：

推薦理由	応募者においては、環境に配慮した持続可能な調達に向けて、GAP 認証農産物の積極的な調達を行っている。また、社員の JGAP 指導員資格の取得を推進し、契約産地におけるGAP認証の取得に向けて支援活動を行っており、GAPの普及・拡大に向けて、多大なる貢献を行っていることから、株式会社〇〇において、GAP 指導員に対する指導を行っている立場から、推薦を行う。
------	---

【各部に共通する審査項目】

審査項目	取組の特徴等
GAP 農畜産物の取扱拡大に向けた取組	平成〇年度から〇年の間に、GAP 認証農産物の調達率は〇倍に向上しており、レタスの調達においては調達率 50%を達成し、他の品目においても、調達率の向上に努めている。また、調達の拡大に当たって、購買担当者が JGAP 指導員資格を取得し、GAP の取組について理解を深め、産地との関係性の向上につながっている。
GAP 農畜産物の販売拡大に向けた取組	GAP 認証農産物の安定調達が可能になったことで、一部の品目については、GAP 認証農産物を使用している商品として、パッケージや POP 等を作成し、消費者に向けた PR 活動も行っている。 また、当社の公式 HP において、契約農場における GAP 認証の取組について、発信を行っており、消費者に向けて、GAP の取組の意義や目的等について、幅広く広報活動を行っている。
生産者への普及推進の取組	令和〇年から、購買担当者や指導員の JGAP 指導員資格の取得を推進し、毎年、GAP 認証に係る社内研修を実施しており、担当者のGAPの取組に関する理解向上に努めている。これまで、述べ〇人の JGAP 指導員を育成し、各調達ブロックにおいて、社内の GAP 指導員等が中心となり、契約産地における GAP 認証の取得の推進等を行っている。
地域の内外への波及に向けた取組やSDGs 等への対応に関する取組	GAP の取組状況については、公式 HP 等において積極的な情報発信を行っており、消費者や流通関係者等への啓発にも積極的に努めている。 イベント等において、自社の契約産地における GAP 認証取得に関する取組を紹介し、実際に GAP 認証品を食べてもらう等の工夫も行い、消費者への理解促進に寄与している。